

安全・安心フォーラム
～除染の推進に向けて～
基調講演

Fight!
Fukushima!



除染を進める福島県の挑戦

平成23年11月27日

福島県生活環境部長
荒竹 宏之

目次

1. 福島県の汚染状況

- (1) 放射性物質の放出量等
- (2) 空間線量率の状況
- (3) 土壌汚染の状況

2. 福島県における除染の取組み

- (1) 除染の仕組み
- (2) 除染の対象(国実施分を除く)

3. 福島県の挑戦

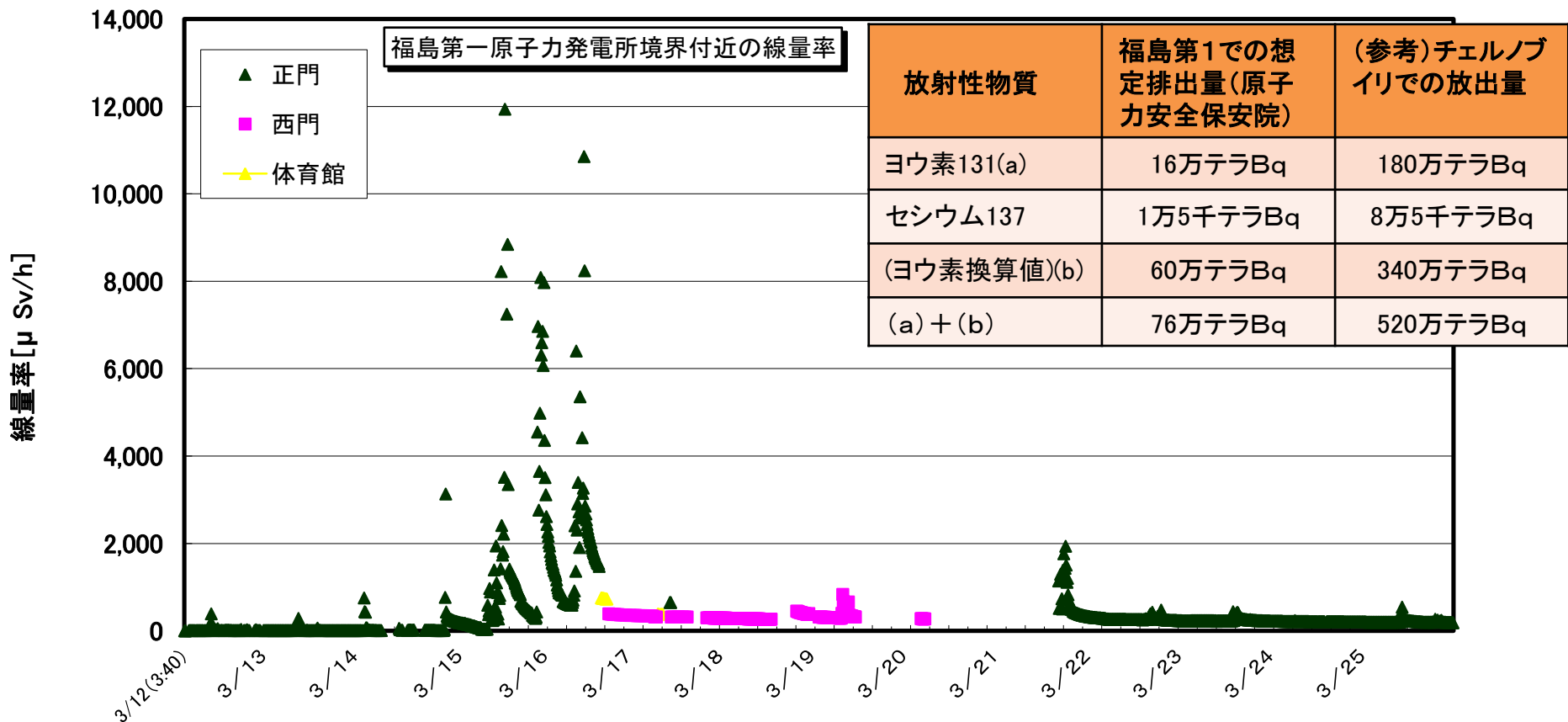
- (1) 除染に関する理解を深める取組み
- (2) 除染に関する技術的支援
- (3) 除染事業者等の育成

1. 福島県の汚染状況

(1) 放射性物質の放出量等

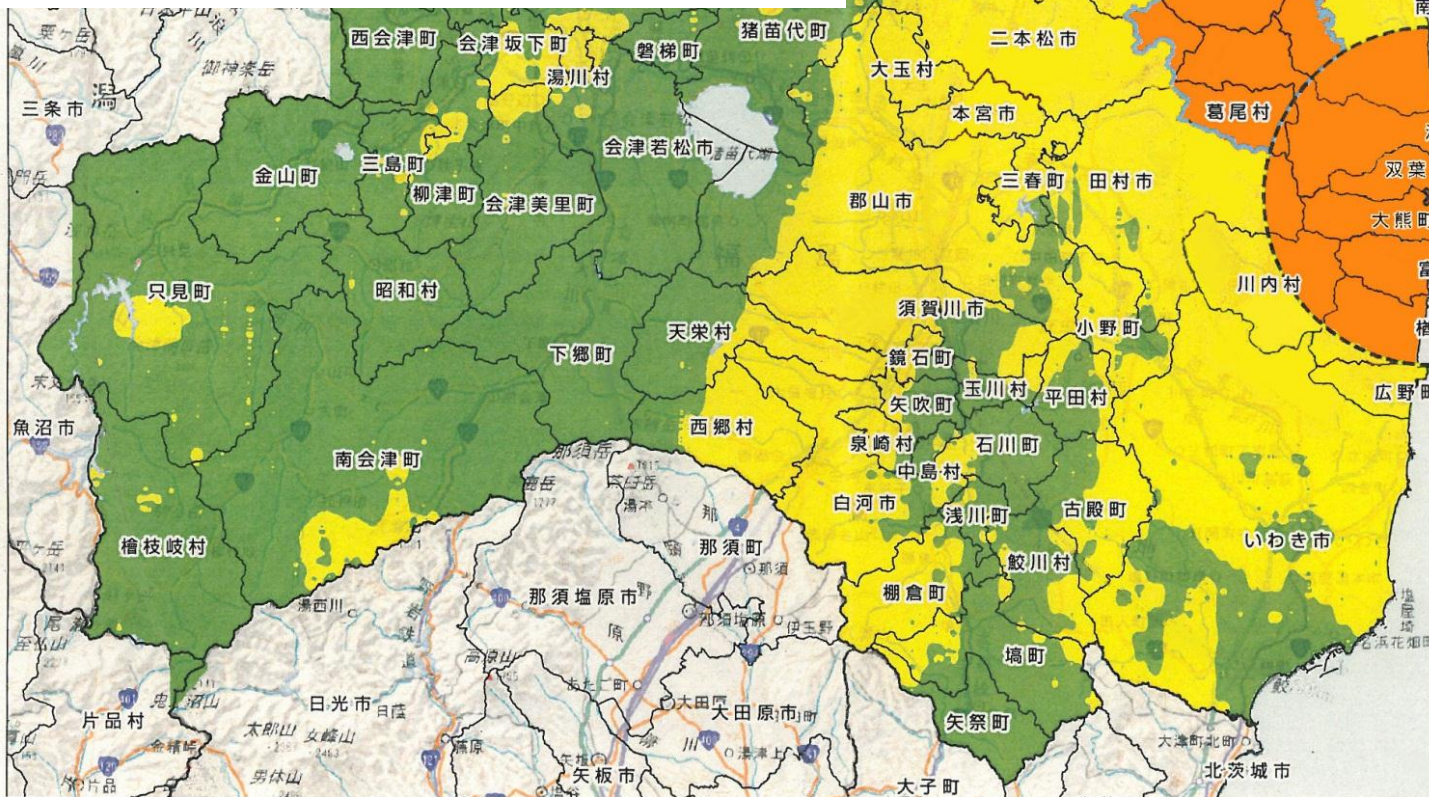
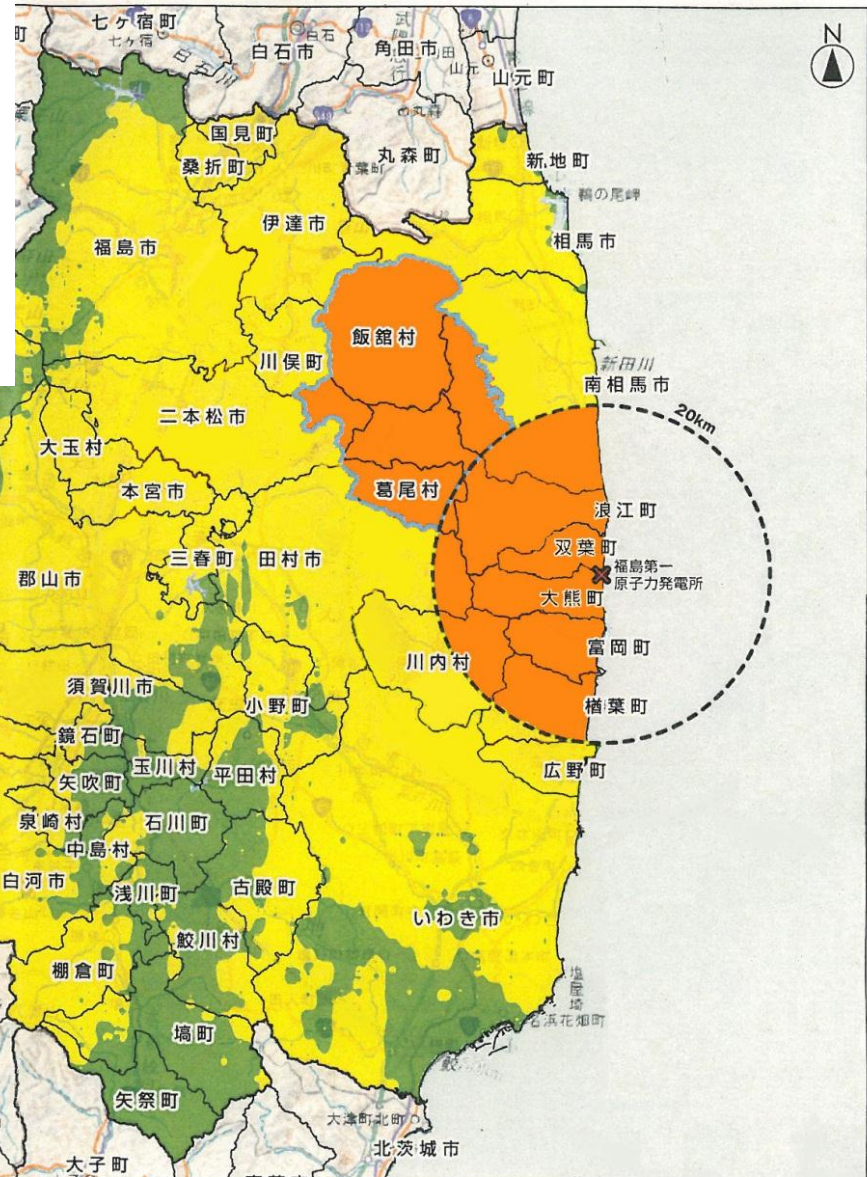
①敷地境界付近の線量率の推移

②放出量評価

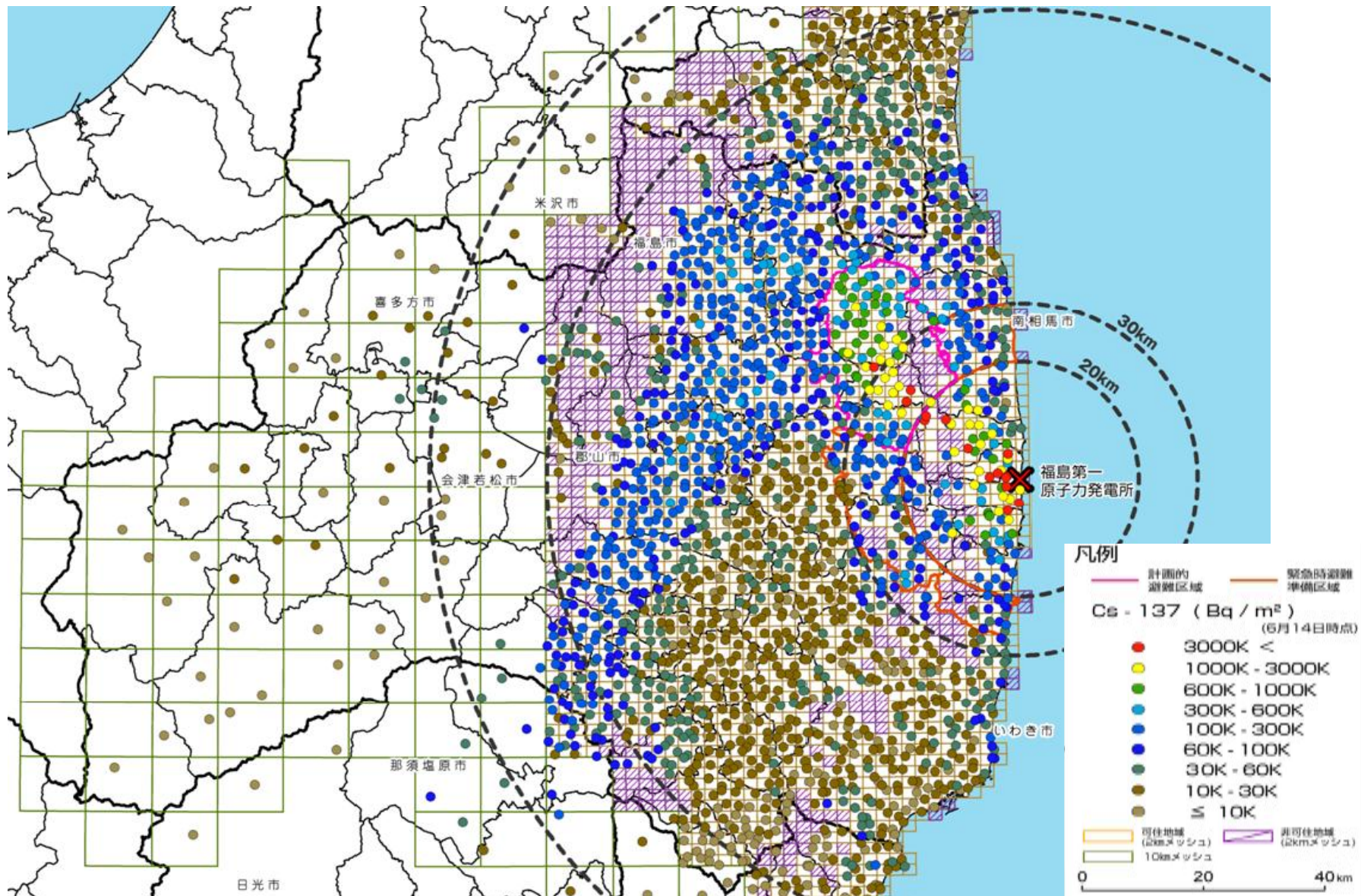


(2) 空間線量率の状況

分布	空間線量率 毎時	追加被ばく線量 年間
うち警戒区域・計 画的避難区域	$0.23\mu\text{ Sv} \leq$	$1\text{ mSv} \leq$
	$< 0.23\mu\text{ Sv}$	$< 1\text{ mSv}$

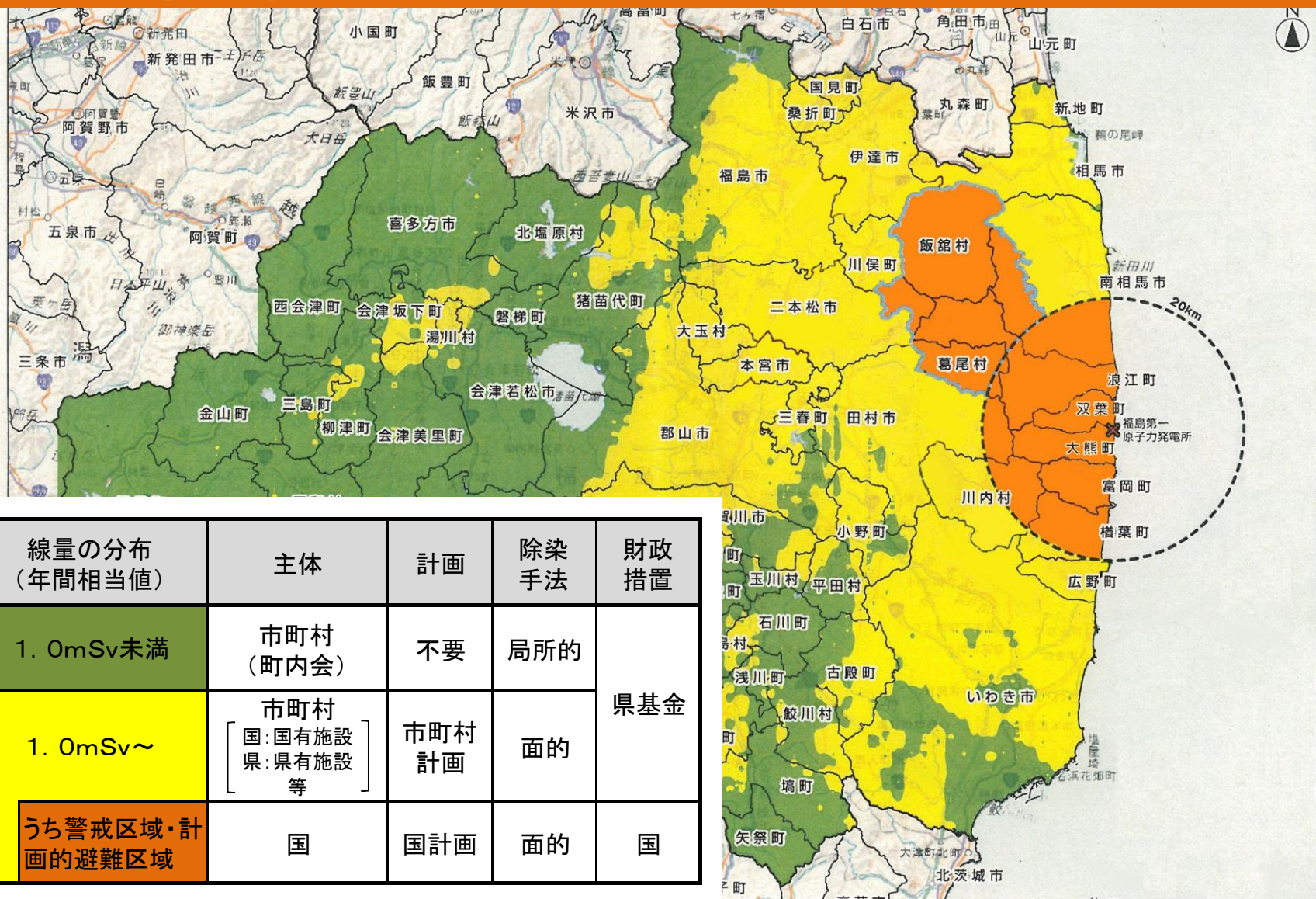


(3) 土壌汚染の状況



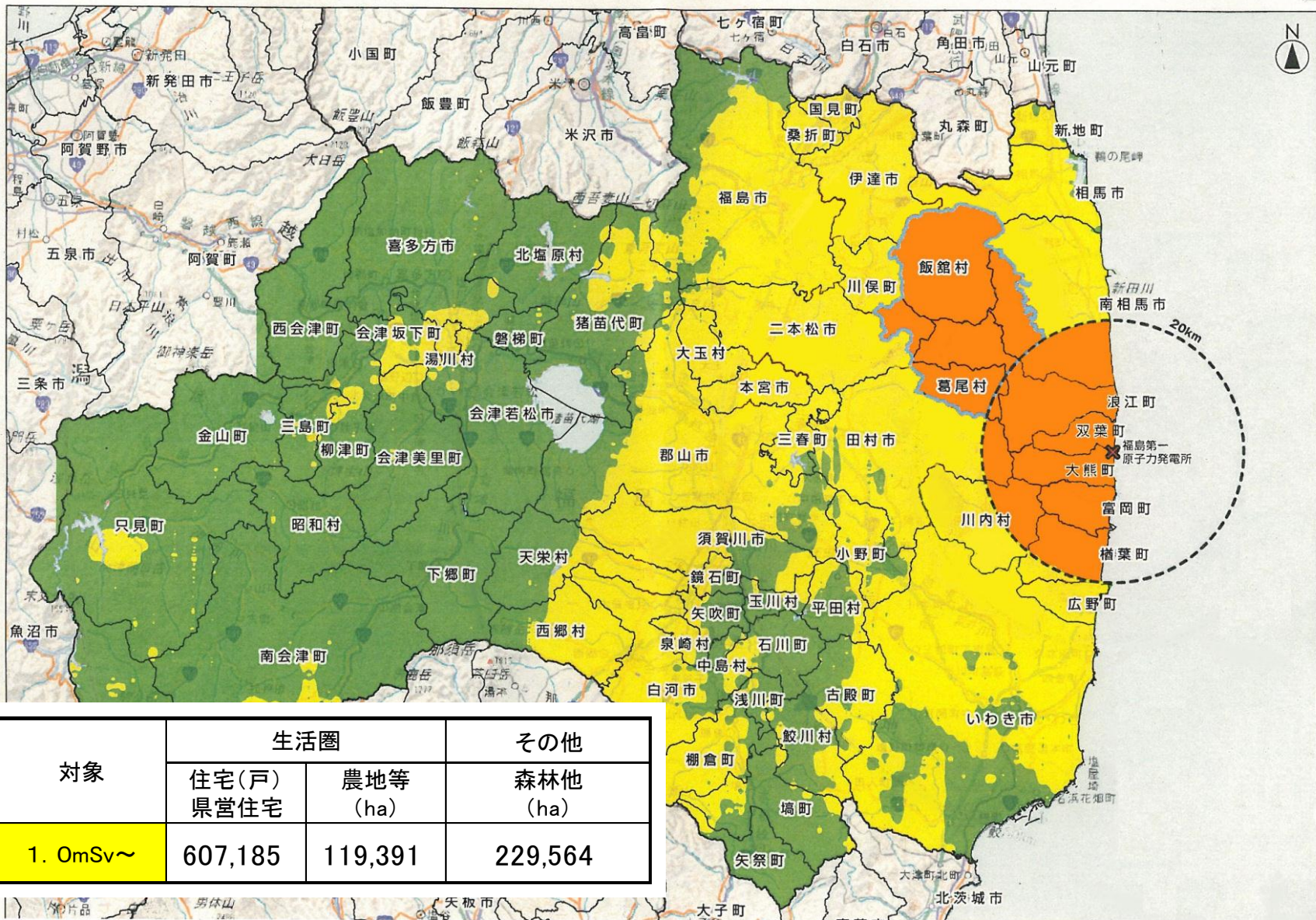
2. 福島県における除染の取組み

(1) 除染の仕組み



線量の分布 (年間相当値)	主体	計画	除染 手法	財政 措置
1.0mSv未満	市町村 (町内会)	不要	局所的	県基金
1.0mSv~	市町村 〔国: 国有施設 県: 県有施設 等〕	市町村 計画	面的	
うち警戒区域・計 画的避難区域	国	国計画	面的	

(2) 除染の対象(国実施分を除く)



3. 福島県の挑戦

(1) 除染に関する理解を深める取組み

県民の皆さんが抱えている放射線の影響や除染に関する不安や疑問を解消し、安全・安心を醸成する。

○安全・安心フォーラムの開催

- ・日程等：H23年11月～
- ・県内4方部で4回開催予定
- ・対象者：一般県民 約2,000人

○地域対話集会の開催支援

- ・日程等：H23年10月～
- ・町内会等单位での集会に専門家を派遣
- ・対象者：一般県民

安全・安心フォーラム Fight! Fukushima がんばろう Fukushima ふくしま!
～ 除染の推進に向けて～
皆様の疑問にお答えします!

開 会
福島県知事 | 佐藤 雄平
日本原子力学会会長 | 田中 知

基調講演
除染を進める福島県の挑戦 : 福島県生活環境部長 荒竹 宏之

講 演
放射線モニタリングと健康影響 : 日本原子力学会 服部 隆利
環境修復に向けて : 日本原子力学会 井上 正
～放射能除染の必要性と課題～
生活圏の除染を進める上での課題と対策 : 福島市政策推進部長 富田 光

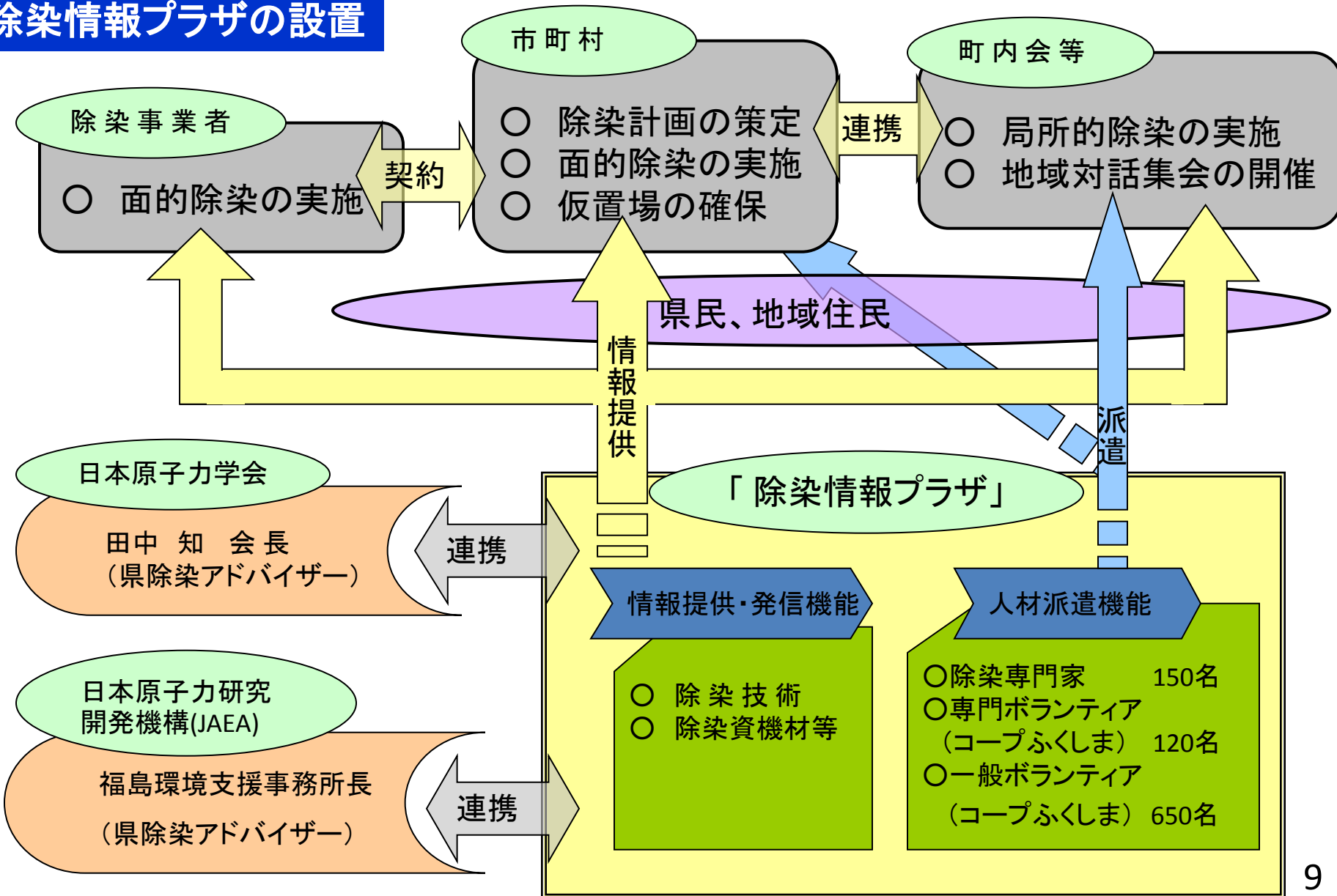
対話集会 専門家との対話により、皆様の日頃の疑問にお答えします。
①健康影響分科会 ファシリテーター：日本原子力学会 占部 逸正
②除染推進分科会 ファシリテーター：日本原子力学会 大場 藤子

日 程	平成23年11月27日(日) 13:00～16:00 (開場12:30)
会 場	バルセイイざか 〒960-0201 福島市飯坂町字筑前27番地の1 ⅴL024-542-2121
対 象 者	どなたでも参加できます <input type="checkbox"/> 参加費 <input type="checkbox"/> 無 料
申 込 方 法	裏面の参加申込書を郵送、FAX又はEメールにてお送りください。 (申込みをされなくても入場できますが、事前に申込みされた方を優先させていただきます。)

主催／福島県・日本原子力学会 お問合せ先 福島県生活環境部除染対策課 ☎024-521-8315

(2) 除染に関する技術的支援①

除染情報プラザの設置



(2) 除染に関する技術的支援②

線量低減化対策に係る手引き

生活空間における放射線量低減化対策の手引き

要約版 (第2版)

詳細版は、福島県ホームページへ
<http://www.pref.fukushima.jp>

このパンフレットは、県民の皆様が、子どもたちが通う通学路や住宅などの生活空間を除染するための方法や注意点をまとめたものです。皆様が直接除染活動を行う際の参考にしてください。

目次

- 1 作業を始める前の準備 P1~3
- 2 除染・清掃活動の実施 P4
- 3 通学路等の除染・清掃活動 P5~6
- 4 一般住宅等の除染・清掃活動 P7~8
- 5 除染・清掃活動による発生物の当面の処理方法 P8
- 6 その他 日常生活で注意すべきこと

作業を始める前の準備

放射線量低減化対策を進めるにあたっての基本的な考え方

除染作業には、危険な作業や高汚染を認める恐れのある作業等がありますので、次のような除染作業は、専門業者に依頼することを必要に即時に判断してください。

- 孤立では居かない場所での作業など作業の危険性が高い場合
- 果樹など特別の配慮が必要となる場合
- 文化的価値のあるものや貴重に思うべきものを除染する場合
- 放射線量が高く、安全に作業を行うことが難しい場合

服装や個人装備

基本装備

- ☐ 動きやすく透気性の良い服装 (長袖、長ズボン)
- ☐ 長靴
- ☐ 汚染防止用手袋
- ☐ ゴム手袋 (作業場所により、厚の上乗せ手袋が必要な場合があります)
- ☐ 帽子
- ☐ マスク (パーティクルフィルタ付換気マスク等)
- ☐ タオル

水を扱う作業

- ☐ カバ (汚染防止用作業服は上下別、そのほか汚染防止用品)
- ☐ コール (お好み)

作業場所や内容を合わせた装備を準備してください。

内部被ばくを防ぐため、マスクを着用し、まゆげの洗い込みを怠りません。

通学路等

作業日 作業場所 作業時間 作業員

作業内容

作業場所の状況

作業後の状況

住宅等の除染・清掃活動

「除染活動の手順」に加えて下記の作業を行います。この順序で作業を行います。

掃き掃除

水洗浄

雨樋にたまった落ち葉等

窓枠を洗浄

レール拭き取り

発生物の当面の処理方法

汚染した発生物の処理方法

汚染した発生物については、汚染が確認できる範囲に回収し、汚染したシートで覆い、発生物の発塵や飛出を防止します。(汚染により汚染が異なる場合は、発塵防止シートを複数枚重ねてください。)

汚染した発生物については、受け付けた放射線量を測定し、記録しておきます。汚染した発生物の発塵防止シートは、汚染が確認できる範囲に回収し、汚染したシートで覆い、発生物の発塵や飛出を防止します。(汚染により汚染が異なる場合は、発塵防止シートを複数枚重ねてください。)

距離による効果

放射線量

約1mで1.6マイクロシーベルト/時減ったと仮定すると

放射線量	1.6	0.6	0.4	0.2	0.1
距離	1.0m	0.6m	0.4m	0.2m	0.1m

覆土による塵への効果

覆土厚さ (土の厚さ)	放射線量への効果
5 cm	51%減
10cm	74%減
15cm	86%減
30cm	98%減

プラスチック容器等への保管も併せて検討します。

(2) 除染に関する技術的支援③

面的除染モデル事業

1 事業の概要

家屋、道路、農地、森林等を含む区域を面的に除染することにより、除染対象ごとの線量低減効果を検証する。

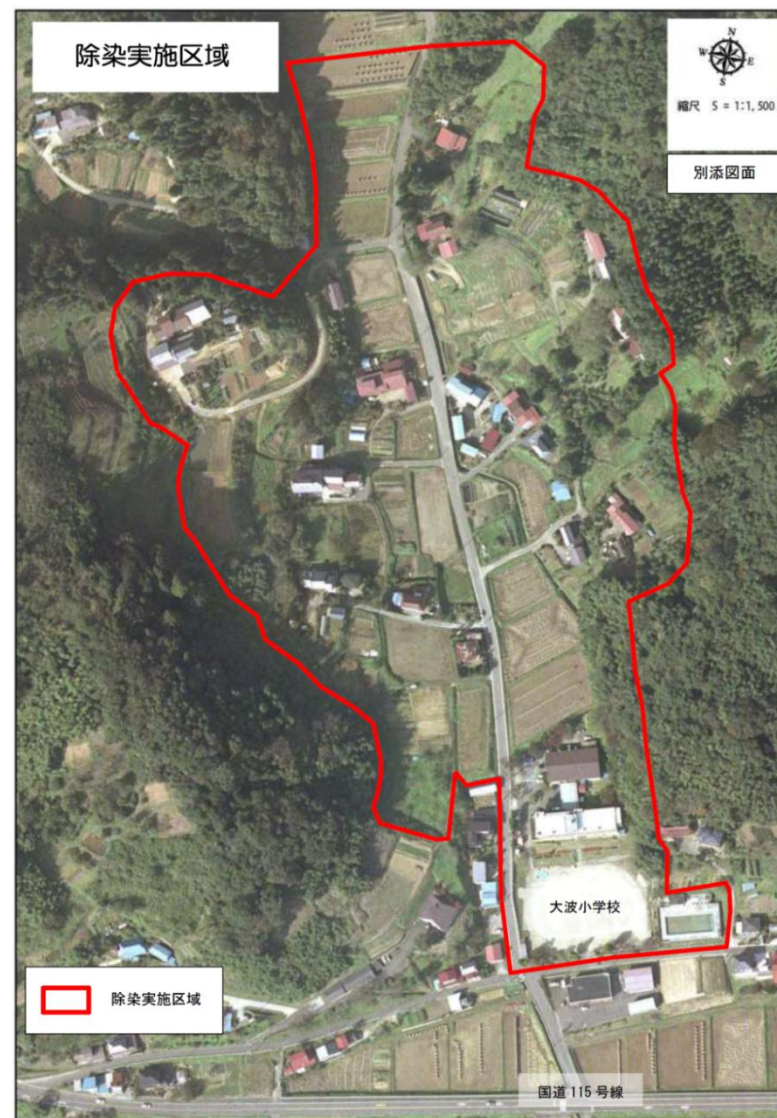
また、検証結果に基づき、今後、市町村が面的除染を進める際の手引き等を作成する。

2 実施場所及び面積

福島市大波地区 約10ha

3 事業期間

平成23年11月～平成24年2月



(3) 除染事業者等の育成

- 除染業務講習会の開催
 - ・日程等：H23年10月～
県内5方部で15回開催予定
 - ・対象者：除染業務従事者
約3,000人
- 除染説明会の開催
 - ・日程等：H24年1月～
県内7方部で30回開催予定
 - ・対象者：地域の除染リーダー等
約1,500人



除染なくして復興なし

福島に生まれて、福島に育って、福島で働いて、
福島で結婚して、福島で子供を産んで、福島で子供を育てて、
福島で孫を見て、福島でひ孫を見て、福島で最後を過ごす。
それが私の夢なのです。

第35回全国高等学校総合文化祭開会式「ふくしまからのメッセージ」より

一刻も早くふくしまの「ほんとうの空」を取り戻すため、
わたしたちは、これからも挑戦を続けていく覚悟です。